
涼宮ハルヒのファイズ

二代目怪盗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涼宮ハルヒのファイズ

【Nコード】

N9408H

【作者名】

二代目怪盗

【あらすじ】

最近は、いたって平和だったのに、また、騒動にまきこまれた。ハルヒが原因か？

設定

キヨン／ファイズ

SOS団の団員

古泉一樹／カイザ

機関の人間超能力者

SOS団の団員

朝比奈みくる

未来人でSOS団の団員

長門有希／ラムダ

宇宙人でSOS団の団員

涼宮ハルヒ

SOS団の団長

ファイズ、カイザ、デルタ、サイガ、オーガは、原作と同じ。

ラムダ／131

フォトンブラッド／緑

武器／ラムダストランザー技／ラムダストラッシュ

ジェイドスマッシュ

ジェイドインパクト

始まり（前書き）

ライダーズギアに関する、補足説明

ファイズギア 誰でも変身可能 カイザギア 古泉と、オルフェノクは、変身可能

デルタギア 強い精神力を持っていれば、変身可能

ラムダギア 長門と、オルフェノクのみ変身可能

サイガギア、オーガギア 上位のオルフェノクのみ変身可能

始まり

ハルヒ「オルフェノクを見つけて遊びましょう！」

キヨン「えっ？」

長門「……………」

みくる「えーと……………」古泉「いいですね。」

4者4様の

反応をするSOS団の団員たち。

キヨン「ハルヒ！！お前は一体何を考えているんだ。」ハルヒ「

大丈夫よ。作者の許可はもらってあるから、問題はないわ。」

キヨン「どうやった？」

ハルヒ「みくるちゃんのコスプレ写真をあげたらOKしてくれたわ。」

キヨン「作者？」

す、すいません。みくるちゃんのコスプレ写真ほしかったんです。

キヨン「他人事だとおもって???!!」

ハルヒ「とにかく！オルフェノクを探しにいくわよ。」

ハルヒ「キヨンと、長門は、西を、私と、みくるちゃん、古泉は、

東を探すわよ。17時になったらまたこの喫茶店に集合!!」

キヨン「ちよつと待て。」ハルヒ「どうしたの？ピン芸人みたい

な勢いでつつこんで？」

キヨン「さつきまで、俺達は部室にいたのに、いつの間にここに来

たんだ？学校から距離があるぞ！」

ハルヒ「作者に命令して、忍たま方式で移動させたのよ！」

説明しよう！忍たま方式とは！

忍たまの漫画は、ページ数の都合で話を早く進めるために、次のコマには、もう、目的地につくことがある。それを作者が、小説で

使用させてもらった。

忍たまの作者さま。本当にすいません。

キヨン「作者、お前は、ハルヒの言いなりか??」

はい。だって、ハルヒさん怖いし……。

ハルヒ「作者何か言ったかしら？」

い、いえなにも。

30分後。

キョン、長門ペア

キョン「なんでもいきなり場面が変わって、目の前にオルフェノクがいるんだ？しかも、どうしてベルトをまいているんだ？」

長門「わからない。はい、ファイズギアの説明書」

キョン「えーと、ゝファイズギアの使い方。変身方法から焼き鳥の作り方まで……。なるほど、使い方はわかった。（焼き鳥は、関係ないだろ）」

キョン「変身」

STANDING BY

COMPLETE

ベルトから、赤いフォトンブラッドが四肢に向かってのびていき、キョンをファイズに変化させていく。

（誠に勝手ながら、各仮面ライダーは初変身以降変身の時の電子音を省きます。）

「ファ、ファイズ」

キョン「仕方ない、戦うか。いくぞ」

ファイズが、オルフェノクへ向かっていく。

初戦闘（前書き）

初戦闘

戦闘少なめ

初戦闘

103ENTER

ファイズフォンをシングルモードに切り替え、攻撃していく。
オルフェノク「ぐう。」 ファイズ「止めた。」

ファイズポインターにミッションメモリーを装填する。

EXCEED CHARGE

オルフェノクに向かって、クリムゾンスマッシュが発動する。
「ぐわあー」

オルフェノクが青白い炎をあげて崩れ落ちた。

キヨン「なんとか勝てたな。」

長門「涼宮ハルヒと合流したほうがいい。」

キヨン「そうだな」

30分後。

ハルヒ「遅い？」

キヨン「遅いつて、お前な。」

長門「キヨン、あれ・・・。」 長門の指さす方向には、ファイズ

ギアと似たベルトを着けた古泉が立っていた。

キヨン「古泉、お前それは？」

古泉「カイザギアです。」

その後、それぞれの結果を話して、解散になった。

昼食代は、命令に反してオルフェノクを倒してしまったキヨンと古泉の割り勘だった。

作者・やーい。ざまあみろー！キヨン・古泉「うるさい（ですよ）。

「
すいません。」

合宿、バカンス？（１）

ハルヒ「皆で、３泊４日でハワイへ行こう。」

キヨン「おいおい。」

古泉「いいんじゃないですか。」

長門「・・・。（無表情）「みくる」・・・（思考停止）。」

キヨン「おい、ハルヒ。そんな金どこにある？」

ハルヒ「大丈夫よ。作者から３０万、とある人物からざっと、４０万借りたから。」キヨン「作者、またお前か。で、その（とある人物）ってだれだ？」

ハルヒ「この人よ。『史上最強の弟子ケンイチ』の登場人物の谷本夏よ。」

説明しよう。

谷本夏とは、上記の作品の登場人物で、頭脳明晰、運動神経抜群で、武術の才と実力を持った金持ちである。ただし、性格は悪いけどね。キヨン「作者、説明が長い。」

にしても、ハルヒ。どうやって連れてきた。」

ハルヒ「クロスオーバーよ。」

キヨン「どうやって金を借りた？」

ハルヒ「彼は負けず嫌いだから、オセロで勝負したのよ。」

またまた、説明しよう

彼は、かなりの負けず嫌いで、何事にも勝たないと気がすまない。

ハルヒ「というわけで、ハワイへ行こう。」

キヨン「あんな・・・。」

古泉「いいじゃないですか。貴方も長門さんと仲良くなって、名前と呼んでもらえるようになったんですから。これを機にもっと仲良くなったらどうですか？」キヨン「古泉お前は、いいのか？」

古泉「はい。『機関』の方針もありますから。」

みくる「楽しそうですね。」長門「キヨン、諦めた方がいい。多数

決できませんでした。」

キヨン「おいおい。」

夏「ハルヒめ、あのくそ女。」

キヨン・ハルヒ「お前、（あんた）まだいたの？」

ハルヒ「さっさと帰れ。」 パコーン、キリン。

作者・キリンで、古っ。ハルヒ「明日から、シルバーウィークだから、明日、空港に集合」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9408h/>

涼宮ハルヒのファイズ

2010年10月10日16時57分発行